

5年1組 道徳科学習指導案

日時 平成30年10月26日 第5校時
場所 小島小学校 5年1組教室

1 主題構成表

主題名 人間の力をこえたもの

資料名 星が光った

■内容項目 D- (21)

美しいものや気高いものに感動する心や人間の力をこえたものに対する畏敬の念をもつこと。

■内容項目から見た児童の実態（意識）

- ・個性豊かな子どもたちが多く、その子なりに精一杯考えを述べたり、行動を取ったりすることができる。
- ・自分たちを取り巻く自然に目を向けることは少なく「あたりまえ」と、さめた感覚でものを見ることが多い。ほんの少しの変化にも驚きもてるようにしたい。

■要因

- ・身近な自然や現象に目を向けることが少なく、興味をもつこともほとんどない。

■価値の分析

- ・感動、畏敬の念とは、美しいものや崇高なもの、人間の力をこえたものとのかわりから生まれてくるものである。
- ・高学年では、人間のもつ心の崇高さや偉大さに感動したり心理を求める姿や自分の可能性に無心で挑戦する人間の姿に心を打たれたり、大自然の摂理に感動しそれを包み込む大いなるものに気付いたりすることなどを通して、それらに畏敬の念をもつことが大切である。
- ・この時期の児童は、大自然の摂理に感動し、人間の力をこえた大いなるものの存在に気付くことができる。実際の自然に出会わせることは困難だが、身近な自然や現象に目を向けさせていきたい。

■教材（資料）の分析

- ・本教材は、主人公が、真っ黒な空に輝くたくさんの星に感動することから始まる。そして、子ども会のリーダーのおじさんから、地球の歴史についての話を聞く中で、地球が長い時間をかけて自然を育ててきたことに思いをはせる。それらを通して、人間の力をこえた大いなるものの存在に畏敬の念を抱くという話である。
- ・まず、教材を読むだけでも、子どもは人間の力をこえた大いなるものに十分感動することができる。
- ・感動の大きさは人によって異なるうえ、なぜ感動するのかといったことまで考えない。そこで、「何に」「なぜ」と感動の理由を考えることで畏敬の念を育てたい。

■ねらい

人間を取り巻く自然の中には、人の力をこえたものがあることに気づき、感動の心や畏敬の念をもつとともに、さらにそれらを守っていこうとする心情を育てる。

■他の教育活動との関連

<朝の会>自分の経験したことを話す。自然（花や・昆虫・鳥・動物・自然現象など）のことを紹介する。
<理科>台風や川の流れの学習では、自然の力の大きさを感じさせる。

■事前

- ・宿泊研修や夏休みなどで自然の美しさを感じたことや自然の中で過ごした経験を記述し、振り返る。

■本時

道徳
「星が光った」

■事後

- ・インターネットや本などで、人間の力をこえたものを探す活動に取り組む。

2 本時の展開

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助 *人権教育の観点
導入	<p>1 美しい自然について考える。</p> <p>○今までどんな「美しい自然」を見たことがありますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・星空 ・夕日 ・桜 ・紅葉 ・富士山 ・流水 ・小島山 ・伊吹山 ・揖斐川 ・長良川 	<ul style="list-style-type: none"> ・映像や写真などで見たもの、または身近な自然でもよいことを伝える。 ・それらがどうして美しいのかを問い、本時の問いにつなげる。
展開前段	<p>2 「星が光った」を読んで、人間の力を超えたものについて考える。</p> <p>◎おじいさんの話を聞いて、どんなことを考えましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球が生まれてから今までの46億年って、本当に長いんだな。 ・46億年に比べて人間の歴史は短い。 ・地球がとても長い時間をかけて、たくさんの生き物にとって住みやすく、美しい星にしてきたのは、本当にすごい。 ・だから自然はうつくしい。 ・美しい自然がたくさんある地球にすんでいることは、幸せなことだな。 ・地球が作ってきた美しさを人間はあっという間に壊そうとしている。 ・人間の力が小さく思えた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>深めの発問</p> <p>○美しい自然を見るとなぜ感動するのか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・心がきれいになった感じがするから。 ・人間の力より、自然の力が大きくてすごいと思うから。 ・人間が自分では作ることができないものだから。 ・自然はとても大きいから。 <p>○おじいさんの言葉に「この地球に生まれた命の一つとして、わたしたちが考え直さなければならないことが、たくさんあるような気がします。」とあるが、自分にとってどんなことを考える。</p> <p>☆仲間との交流を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然を汚さないようにする ・自然を壊さないような活動をして守って生きたい。 ・自分だけによいのではなく、地球にとってよいことをする。 ・リサイクル活動をして、資源を大切にしていきたい。 ・自然にやさしいものを使うようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・範読をするときに、おじいさんの言葉で「印象に残った言葉・考えて見たいこと」に、線を引くように指示し感想につなげる。 ・時間の許す限り、児童に発言を促す。 ・子どもの発言を受け止め、内容を整理し、構造的に板書していく。 ・テープ図によって、時間の経過をつかませ、人間が現れたのはほんのわずかな時間であることをつかませる。 ・自然は、人間の力を超えた存在であることに、畏敬の念をもつことができる。 ・人間が美しいと感じる自然を構成するもの全てが、地球が気の遠くなるような長い時間をかけて育ててきたものであることに感動するのではないかということをおさえる。 ・大いなる自然を感じるだけでなく、それらを守っていく義務が人間にはあることをおさえる。 *授業の後段で最後に現れた人間が自分勝手な行動をとったことの重大さに気づき、自分たちがしなければならないことを考える。そのことによって、生活を振り返り、人間の心の中にある偏見的なものの見方や考え方を改める力を身に付けさせたい。(自己啓発力) ・崇高なものに対して、畏敬の念をもって生きようとしているか。
展開後段	<p>3 自分の生活を振り返る。</p> <p>○今日の学習を通して、考えたことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美しい自然をこれからも守っていく責任を感じる。 ・人間が現れてからほんの少しなのに、すばらしい自然を壊していくのが残念だ。 ・わたしたちが住んでいる地球をこれからも大切にしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習を通して、自然の偉大さについて考えたことをまとめることができる。
終末	<p>4 教師の説話を聞く。</p>	

